

事業報告書様式

- 1 様式1
(施設概要、指定管理者概要)
- 2 様式2
(管理運営体制(事業計画書様式2)の報告、利用促進・市民協働等(事業計画書様式3)の報告、維持管理(事業計画書様式4)の報告)
- 3 様式3
(令和6年度文化・自然体験施設利用状況(園地や無料施設で利用者数を計測している場合は記入))
- 4 様式4
(令和6年度修繕実績)
- 5 様式5
(令和6年度増減備品一覧)
- 6 様式6
(苦情要望対応報告、事件・事故・災害対応報告)
- 7 様式7
(利用者アンケート結果)
- 8 様式8
(研修実施報告)
- 9 様式9
(無料事業実施報告一覧(自主事業含む)、有料事業実施報告一覧(自主事業含む))
- 10 様式10
(業務の第三者委託実績)
- 11 様式11
(収支報告書(指定管理事業のみ))
- 12 様式12
(運営目標・実績報告)

令和6年度事業報告書

根岸なつかし公園文化体験施設

(事業報告書様式1)

1 施設概要

文化・自然体験施設名	根岸なつかし公園文化体験施設
所在地	磯子区下町 10 番
公園面積、公園種別	6,148 m ² (指定管理区域 2,582 m ²)、歴史公園
主な施設	建物 (東館、西館、洋館、蔵)、庭園、街区広場 (子供の遊び場)、アプローチ園路
特徴	<p>平成8年、柳下氏より横浜市に建物が寄贈され、平成12・13年度に公園整備及び建物の保全改修工事を行い、平成15年2月から歴史公園として一般公開しました。</p> <p>建物は柳下家の住宅として現在地に、大正中期から後期にかけて建てられたものであり、関東大震災前の洋館付き近代和風住宅として、建築的・歴史的価値が非常に高いと評価されています。</p> <p>建物は平成14年11月1日に横浜市指定有形文化財として指定されました。</p> <p>開園時間午前9時から午後5時 (建物は9時30分から午後4時30分)</p> <p>休園・休館日毎月第2、4火曜日 (祝日の場合はその翌日)</p>
公園開園日	平成15年2月1日

2 指定管理者概要

指定管理者名	特定非営利活動法人根岸なつかし公園旧柳下邸管理委員会
代表者名	理事長 倉澤 正子
所在地	神奈川県横浜市磯子区下町 10 番
指定管理期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで
現指定管理者管理運営開始日	平成18年4月1日

(事業報告書様式2)

1 管理運営体制 (事業計画書様式2) の報告

<p>令和6年度事業計画書の通り、文化・自然体験施設の管理運営を実施しました。</p> <p>■管理運営体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大正期に建てられた横浜市有形文化財としての歴史的・文化的価値を職員全員が理解し、公園としての設置目的に沿って管理運営を実施しました。 ・人員配置は常勤職員2名パート職員6名とし、1日最低2人以上の配置を徹底しました。 ・職員全員へ感染症対策を徹底しました。
--

- ・参加者を募集する教室事業は、『おとなの塗り絵教室』『七夕織姫教室』『五右衛門風呂入浴体験』『マフラー織り体験』の4件を実施し、好評のうちに終了することができました。

2 利用促進・市民協働等（事業計画書様式3）の報告

令和6年度事業計画書に基づいて、利用促進・市民協働等を実施しました。

■利用者サービスの向上

- ・事業報告書様式12の通り利用者アンケートを実施した他、直接来園していただいた方々からの要望や質問等を記録しニーズ把握に努め、より来園者に寄り添った公園の管理運営になるよう努めました。

■広報・プロモーション

- ・広報の一環として、『横浜市広報 磯子区版』『いそご区民活動支援センター いそつな』へ掲載しました。また、成美堂出版『歩く地図 鎌倉・横浜散歩 2025』、磯子区発刊『磯子の逸品』改訂版「エリアの見どころ」に当公園が掲載された他、『タウンニュース金沢区・磯子区版 端午の節句』、『磯子区区政100周年記念共催・JR磯子駅・根岸駅開業60周年記念 駅からハイキング ウォーキングイベント』、『いそつな 施設紹介 旧柳下邸』の取材を受け記事が掲載されました。

■他団体との連携

- ・磯子区内34施設による磯子区内回遊企画『いそっぴゴールデンウィーク&スタンプラリー（4～5月）第15回』企画が開催され、当公園も参加しました。本企画では区内全小学校や区内各施設でのパンフレット配布や、町内掲示板等でのPRが行われ、開催期間中は幅広い年代層の方々が回遊されました。期間中は端午の節句に合わせた企画展示を行っており、来園された方々に好評をいただきました。

- ・三溪園・人形の家・当公園共催『横浜ひなめぐり（2～3月）』を実施しました。

この企画は各施設の特長を活かした雛飾りの展示を楽しんでもらうもので、スタンプラリー形式のパンフレットを用意し、各施設のHPやSNSを利用したPRを行いました。昨年に比べて来園者は増加し、日本の伝統文化に触れてもらう良い機会となり大いに好評をいただきました。

■災害時の緊急対応

- ・地元消防署協力のもと、文化財防火予防デー開催月に合わせて防災・避難訓練及び救命救急蘇生法の訓練を実施しました（1/27）。

■安全対策・防犯対策

- ・巡視・巡回を適宜実施し、枯死木・枝の早期発見や除去、ハチなどの害虫の早期駆除等を実施し、来園者の安全確保に努めました。

- ・当公園は土砂災害警戒区域内のため、職員全員への安全教育を実施しました。また、荒天時には土砂災害警戒情報の発令に備え園内の見回りを強化し、安全の確保に努めました。

■苦情・要望への対応等

- ・事業報告書様式6の通り要望に対応しました。

■本誌の重要政策を踏まえた取組、個人情報保護等

- ・横浜みどりアップ計画をふまえ、日本在来植生を保全し、また、建物と調和した園地・庭園の

植生管理に努めました。

・個人情報の取扱いについては各種法律・条令に則った管理の徹底及び職員全員へ個人情報保護の教育を実施しました。

3 維持管理（事業計画書様式4）の報告

令和6年度事業計画書の通り、文化・自然体験施設の維持管理を実施しました。

■施設（建物等）・設備の維持管理

・維持管理について、職員全員に対して「活用運営ガイドライン」「維持管理マニュアル」「維持管理水準書」に基づいた研修を実施し、日常の維持管理業務に努めました。

・不具合箇所の早期発見に努め、発見した箇所は横浜市へ報告し状態の保全を行い、必要な修繕をしました。

■樹木・植栽等の管理

・大規模な樹木剪定や草本の刈込等は業務委託による効率化を図り、それによって空いた時間や人手を使い、外来植物の除去や日本在来植生の保護に注力することが出来ました。

・在来植生の保護については、植生に詳しい協力者の協力を得て適切に実施しました。

・当公園で最も目を引くノムラモミジの樹勢が衰えてきたため、公園事務所と樹木の状況を共有すると共に、その種を播種、育苗し将来の更新に備えてきました。また、磯子区ゆかりの希少種・杉田梅も実からの育苗を継続しました。

・園地内斜面地の土砂流出防止のため、裸地へリュウノヒゲ等を新たに植栽、客土し園地保護に努めました。

■巡視・清掃

・園内の巡視・清掃は毎日丁寧に実施し、異常や劣化の早期発見に繋がりました。また、来園者からは園内の手入れについて「綺麗に手入れされていて気持ち良い」とのお声をいただくことができました。

（事業報告書様式3）

令和6年度文化・自然体験施設利用状況（園地や無料施設で利用者数を計測している場合は記入）

月別	文化体験施設の利用 人数	文化体験施設の利用 人数(内、入館人数)	備考
4月	724	344	
5月	830	540	
6月	466	226	
7月	274	157	
8月	175	108	
9月	444	333	
10月	473	265	
11月	931	618	
12月	757	485	

1 月	573	363	
2 月	973	694	
3 月	843	549	
年間合計	7,463	4,682	

(事業報告書様式4)

令和6年度修繕実績 (※指定管理者が実施したもののみ記入)

修繕年月 日	修繕箇所	金額(単位:円)	委託業者名または直営かの記載
R6.4.20	擁壁上 人止め柵、杭 劣化／更新	0	直営
R6.4.24	水琴窟 柄杓 劣化、破損／購入	5,390	直営
R6.6.1	正門脇 木製看板 劣化／木部ビス止め	0	直営
R6.6.19	遊具 ボルトキャップ劣化、破損／部品が届くまでの仮補修として、カムテープ止め	0	直営
R6.9.2	遊具 ボルトキャップ劣化、破損／部品が届くまでの仮補修として、カムテープ止め	0	直営
R6.9.7、 14	南側斜面 スプリンクラーの筒、劣化、破損／補修	0	直営
R6.9.16、 19	南側斜面園路脇 竹垣劣化／仮結束	0	直営
R6.10.14、 12.1	表玄関 ガラス戸取っ手金物 脱落／嵌めなおし	0	直営
R6.10.2～ 25	四ツ目垣 劣化、破損／杭を交換し、取付なおし	0	直営
R6.10.2～ 25	枝折戸 劣化、破損／天井板ズレ／修繕	0	直営
R6.10.26	園路ロープ柵 結束テープ劣化／テープ巻きなおし	0	直営
R6.10.31 ～12.9	南側斜面 土砂流出／流出止めの為リュウノヒゲ植込み	30,000	直営
R6.11.1	ルート回収用箱劣化／取付なおし	0	直営
R6.12.1	事務室受付台 ガラス戸戸車劣化、異音／金属粉除去、潤滑剤塗布	0	直営
R6.12.1	遊具 ボルトキャップ劣化、破損／部品が届くまでの仮補修として、ガムテープ止め	0	直営
R6.12.1	外倉庫 シャッター破損／経年劣化により破損した部品を	0	直営

根岸なつかし公園文化体験施設 令和6年度 事業報告書

	取除き報告		
R6.12.17	軒庇 野地板劣化 ズレ／ズレなおし	0	直営
R7.1.9	建具 開閉不具合／敷居スベリ塗布にて調整	0	直営
R7.1.17	四ツ目垣 劣化、破損／竹材を足し、シュロ縄結束	0	直営
R7.1.19	木製ベンチ ボルト緩み／増締め	0	直営
R7.2.4	四ツ目垣 劣化、破損／竹材を足し、シュロ縄結束	0	直営
R7.2.9	調度品 立ち火鉢 木枠劣化、部品脱落／取付なおし	0	直営
R7.3.6	浴室脱衣室外 軒庇 劣化、ズレ／取付なおし	0	直営
R7.3.22	木製ベンチ ボルト緩み／増締め	0	直営
R7.3.22	南側斜面 植栽根周りの土が流出／土の流出止めのためにリュウノヒゲ及び土を購入、植付け及び客土	66,500	直営
合計		101,890	

(事業報告書様式5)

令和6年度増減備品一覧(※指定管理者が購入・廃棄したもののみ記入)

品名	形状・その他	単価 (円)	購入		廃棄		増減理由
			数量	年月日	数量	年月日	
無し	—	—	—	—	—	—	—

(事業報告書様式6)

苦情要望対応報告

	年月日	内容	対応結果
1	R7.2.22	公園案内板劣化の為、公園案内が大変読みづらい為、早めの修繕を要望。	状態を報告し、修繕依頼を提出していることを伝え、了承された。

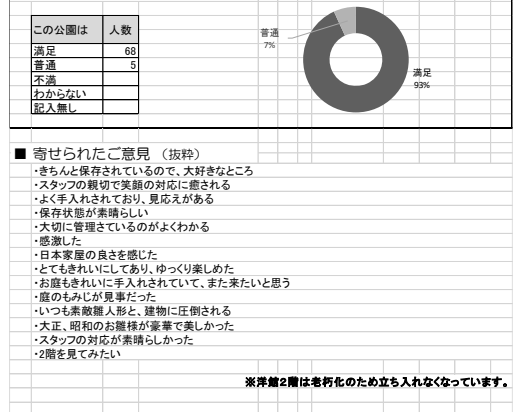
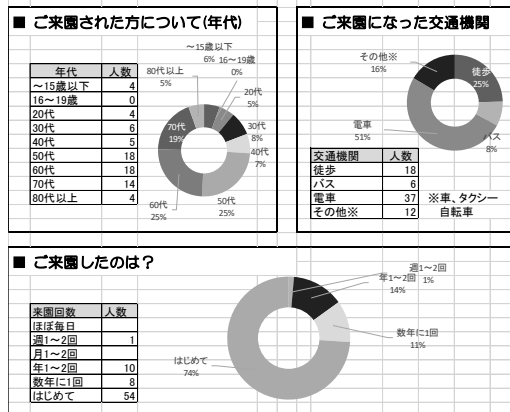
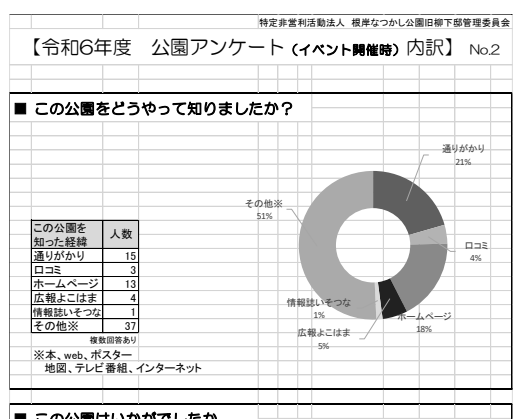
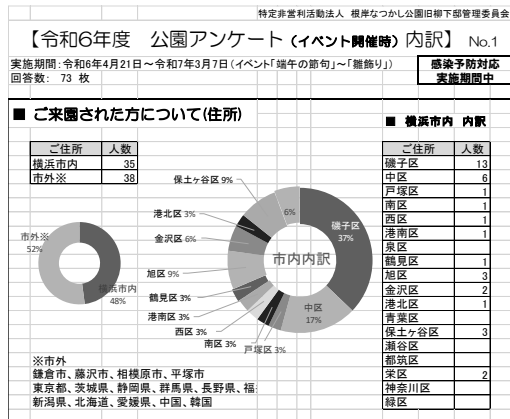
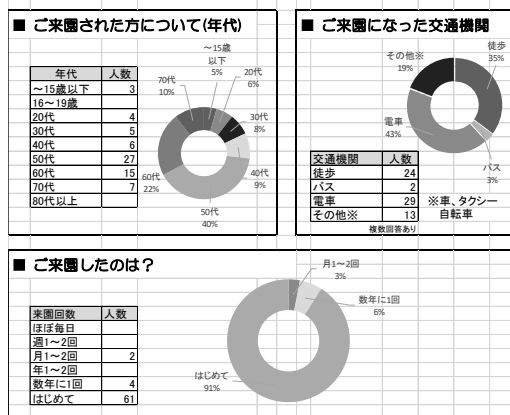
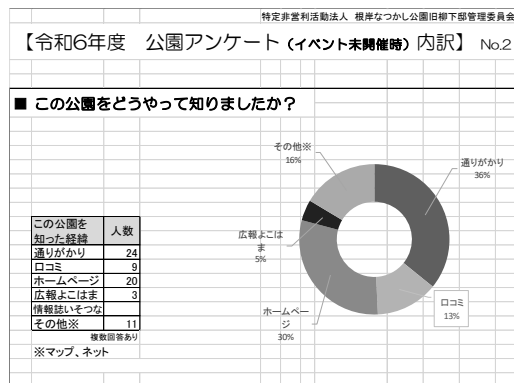
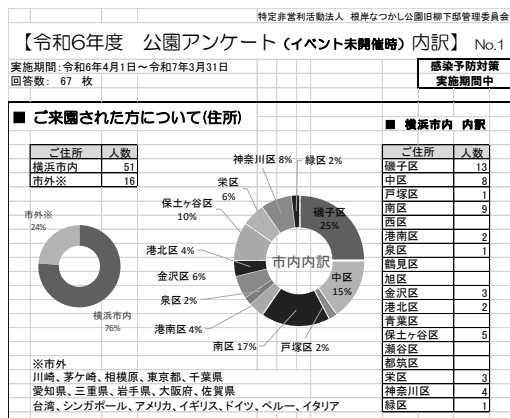
事件・事故・災害対応報告

	年月日	内容及び被害	対応結果
	無し	—	—

根岸なつかし公園文化体験施設 令和6年度 事業報告書

(事業報告書様式7)

アンケート



(事業報告書様式8)

研修実施報告

	実施日	研修名	内容及び効果
1	R6.4.1 ～ 4.24	管理運営の業務 及び個人情報保 護研修	新職員及び職員。公園、文化財建物の維持管理、日常業務、個人情報保護、人権、接遇、障害者差別解消、パソコン・スマホ等セキュリティ、新型コロナウイルス感染症防止対応、外来特定生物等について。 全職員が一定以上の水準で日常業務にあたる事が出来るよう、業務の基準やチェックポイントを共有することができた。
2	R6.4.1 ～ 5.15 R7.2.1 ～ 3.3	節句研修	主に上巳、端午、七夕の節句の歴史・節句の飾り方・取扱い・イベントの実施について及び修理・終了後の収納・保存までを学んだ。 日本文化の祝祭を学ぶことで、全職員が文化体験施設の在り方や魅力の見せ方、伝え方について考え共有するきっかけとなった。
3	R6.4.1	園地管理、熱中 症対策研修	園地内の作業、有毒な害虫の対処法、熱中症対策について。 園地内での基本的な作業内容や体調管理、トラブル対処について共有し一定以上の水準の作業が行えるよう努めることになった。
4	R6.4.1 6.1 8.14～8.15	大雨、台風、土 砂災害対応研修	当指定管理エリアは急斜面緑地の直下にあり、「土砂災害警戒情報の発表とともに避難指示を一斉に発令する対象区域」にあるため、園地や周囲の危険個所の把握、役割、対応及び避難、消防避難について研修を行った。
5	R6.5.2 ～ 6.19 7.13、7.18 8.15 11.9	樹木管理、整枝 剪定研修	中木生垣及び中木の日本庭園のための整枝剪定の職員実習。主に、希少種スギタ梅、獅子ユズ、ミカン、アジサイ、マキ等の整枝剪定を学んだ。 選定の条件や技術を習得することで、日常作業を行うスタッフによる植生管理の幅を拡げることが出来た。
6	R6.6.1 ～ R7.3.10	蓮の維持管理研 修	園内で管理している鉢植え蓮の手入れ、施肥、アオコ除去等から冬の蓮根の植替えまでを学んだ。 研修を通じて水棲植物の管理を学ぶことで、職員が積極的に植生管理を行う動機づけとなった。
7	R6.6.23 ～ 7.12 10.4	スタッフスキル アップ研修	七夕の由来、織物の歴史、京都や松本地方に残る紙雛、紙衣等について七夕飾りを通して学び、織姫裂き織り体験教室実施までを学ぶことで日本文化への理解を深めた。
8	R6.8.10 ～	地震対応研修	8.8 南海トラフ地震臨時情報発令、8.9 神奈川県西部地震発

	8.12		生の為、改めて対応及び避難訓練を実施した。
9	R6.9.21 ～ 9.25	特定外来生物と 維持管理研修	特定外来生物を学び、「入れない・捨てない・拡げない」維持管理を実施することで、園地の環境を守ることにつながった。
10	R6.9.29 ～ 10.2	茶毒蛾、毛虫等 の取扱い研修	園内、茶の木に発生した茶毒蛾の退治方法を学び、植栽の枝は密集させない剪定方法を学んだ。 安全に過ごせる園地とした。
11	R6.10.2～ 10.25	四ツ目垣修繕研 修	四ツ目垣の劣化箇所の修繕方法を学び、長寿命化に努めた。
12	R6.12.1 R7.1.7	文化財建物の維 持管理研修	洋館付き近代和風住宅（旧柳下邸・横浜市有形文化財）の歴史的特性、構造、日常の維持管理について。 在来建築の知識を深めることで建物の特性を考えながら日常業務を行えるよう努めていく。
13	R7.1.7	管理運営の業務 及び個人情報保 護研修	新規採用職員及び職員。公園、文化財建物の維持管理、日常業務、個人情報保護、人権、接遇、障害者差別解消、パソコン・スマホ等セキュリティ、新型コロナウイルス感染症防止対応、外来特定生物等について。 適切な維持管理、対応ができ、事故なく安全に維持管理運営ができた。
14	R6.12.3	横浜市企業人権 啓発後援会研修	国際原則、宣言、日本政府によるガイドラインについて理解し、企業での実践例を学び、維持管理に活かしていく。
15	R7.1.27	消防避難訓練	文化財防火予防デーに合わせて、磯子消防署から来園いただき、消防避難訓、AED 訓練、立地特性による災害発生時の対応などについて訓練。 発災時は文化財保護の為に初動が重要であることを学んだ。また、AED 訓練をすることで非常時に迅速に行動する為の基本的な知識と技術を身につけた。
16	R7.3.23 ～ 4.5	食品衛生責任者 研修	食品衛生責任者研修および HACCP（食品事故を防止する衛生管理）について。

（事業報告書様式9）

無料事業実施報告一覧（自主事業含む）

事業名	事業内容・実施結果	参加 人数	実施日
端午の節句	邸内座敷に昭和初期からの五月人形、鯉のぼりなどを多数展示した。 市内施設の中でも邸内一杯に展示する端午の節句イベントは珍しい。それぞれの時代や他地域の特徴ある節句の表情が見られ、3	461	R6.4.21 ～ 5.6

	世代で訪れる方たち、幼児から若い家族、年配の方まで幅広い年代の方たちに好評だった。		
端午の節句 折り紙兜折り 体験	新聞紙や折り紙で兜を折る体験は、新型コロナウイルス感染症対策の為に中止。	0	—
端午の節句 身長計り	♪背比べに因んだ身長計り。3世代で訪れる方たち、幼児から若い家族、年配の方まで幅広い年代の方たちに好評だった。	21	R6.4.21～ 5.6
いそっぴゴール デンウィーク &スタンプ ラリー	磯子区内の公共施設やイベントを巡るスタンプラリー。 *磯子区館長連絡会議主催、磯子区内施設との連携企画。15回目。 区内参加施設や町内回覧版掲示によるPR及び区内全小学校児童にスタンプチラシを配布した。 幅広い年代の方々が参加し、区内回遊企画の効果が大きかった。	未集 計	R6.4.21～ 5.6
七夕	七夕飾りの展示を行った。短冊に願い事を書いてもらい、笹に飾る（旧名称：七夕まつりより名称変更）。京都府、長野県等の他地域の珍しい七夕飾りも展示した。	56	R6.7.1～ 7.7
日本の夏	日本家屋の構造による夏を涼しく暮らす知恵と工夫を体感してもらった。	100	R6.7.24～ 8.12
十五夜	夜間開園・開館し、夜のあかりを灯した邸内で十五夜の月や天体観測、展示。	113	R6.9.17
文化の日	足踏みオルガン、陶器製のガスストーブ、蓄音機、昭和のマッチラベルコレクション等を展示し、洋館付き近代和風住宅での大正～昭和の暮らしの様子を体感してもらった。	74	R6.11.1～ 11.3
町内会の祭り	猛暑の為、夏まつりを冬の祭りと合わせて1回にして実施。当委員会も出し物を用意して参加し好評だった。	未集 計	R6.12.1
クリスマス	畳敷きの洋館の1階は当時でも珍しい様式。和洋折衷の建物に昭和のイメージでクリスマス飾りをした。	448	R6.12.1～ 12.25
小正月	小正月に因み多数の羽子板コレクションを展示。和館、座敷の小正月の様子を体感してもらった。	179	R6.12.25 ～R7.1.15
雛まつり	雛人形、雛飾り、節句飾り展示。 邸内座敷に大正、昭和初期からの雛人形や幼児の祝晴れ着、雛軸、男児の天神雛（静岡県）等の希少で珍しい雛も多数展示した。 3世代で訪れる方たち、幼児から若い家族、年配の方まで幅広い年代の方たちに好評だった。	760	R7.2.16～ 3.7
横浜ひなめぐ	三溪園、横浜人形の家、旧柳下邸3施設連携企画。初回は平成	1,09	R7.2.8～

り & スタンプ ラリー	25年度から開始。 それぞれの特徴ある雛まつりを巡るスタンプラリーは市内以外の地域からの来館者も戻り始めた。	6	3.23
建物説明	旧柳下邸の概要、歴史、見どころ、その時代の暮らし及び園内植物説明など。	未 集 計	通年
飾ってみませ んか	自身の作品やコレクションなど(営利等を目的としない)を邸内の床の間や洋館ショーケースなどに飾ってもらう企画。	1 組	R6.10.10 ～10.16
マイボトルス ポット	横浜市資源循環局マイボトルスポットに参加。	0	—

有料事業実施報告一覧（自主事業含む）

事業名	事業内容・実施結果	参加人 数	実施日	自主事業決算額	
				自主事 業費(円)	自主事業 収入(円)
なつかし茶の 日	邸内で季節の茶菓子と日本茶などを楽しんでもらう企画。 新型コロナウイルス感染症対策の為中止。	0	—	0	0
七夕 裂き織 り体験	織機を用いて裂織りを体験してもらう企画。	4	R6.7.7	16,941	8,000
七夕 新茶で 利き茶体験	産地ごとの新茶の違いを淹れ方とともに体験してもらう企画。 茶店閉業の為中止。	0	—	0	0
日本の夏 五 右衛門風呂体 験	小学生とその保護者及びグループを対象。邸内の五右衛門風呂を使用し入浴体験及び日本家屋で夏の暮らしを体感してもらう企画。	1 組	R6. 7.26	3,088	2,000
文化の日 10 月 31 日は日本 茶の日！	日本茶の歴史を学びつつ日本茶の美味しい淹れ方を体験する企画。 茶店閉業の為中止。	0	—	0	0
ク リ ス マ ス あったかマフ ラーを織って みませんか？	織機を用いてマフラー織り体験をしてもらった。	4	R6. 12.6 12.13	21,998	16,000
おとなの塗り 絵教室	色鉛筆を用いた大人向けの塗り絵の教室。参加者の作品は発表会を行った。 (2/16～3/7)	延べ 106	R6. 4.11 5.9 6.13	91,140	123,000

			7.11 8.8 9.12 10.9 11.14 12.11 R7. 1.9 2.13 3.13		
雛のつるし飾り教室	古布縮緬で作るつるし雛教室。 講師体調不良の為中止。	0	—	0	0
来園記念品	洋館付き住宅の本、旧柳下邸の見どころ案内リーフレットなどを協力者と作成（運営協力金をお願いする）	未集計	通年	0	19,000
部屋利用	文化活動や作品発表の場などに座敷の一部を利用してもらう。	0	—	0	0
寄付金	寄付金収入	未集計	通年	0	30,269
合計				133,167	198,269

（事業報告書様式 10）

業務の第三者委託実績

業務	内容	委託会社	金額(円)	年回数	実施月
機械警備委託	旧柳下邸の夜間及び休館時の機械警備	セコム株式会社	368,280	通年	4月～3月
雨樋清掃委託	旧柳下邸の雨樋清掃	株式会社 トージ建築	316,800	1回	12月
樹木剪定及び草払い等委託	樹木剪定及び刈込、草払い	生駒植木株式会社	484,000	8回	4月～3月

根岸なつかし公園文化体験施設 令和6年度 事業報告書

(事業報告書様式 11)

収支報告書 (指定管理事業のみ)

(単位:円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
収入の部						
指定管理料	15,820,900	0	15,820,900	15,820,900	0	
利用料金収入	0	0	0	0	0	
自主事業収入	232,200	0	232,200	198,269	33,931	
雑入	15,000	0	15,000	0	15,000	
その他雑入	0	0	0	796	- 796	
収入合計 (a)	16,068,100	0	16,068,100	16,019,965	48,135	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
支出の部						
人件費	11,265,600	0	11,265,600	11,773,970	-508,370	
給与・賃金	9,680,400	0	9,680,400	10,219,630	-539,230	
社会保険料	926,400	0	926,400	970,238	-43,838	
通勤手当	310,800	0	310,800	213,160	97,640	
福利厚生費	198,000	0	198,000	220,942	-22,942	
勤労者福祉共済掛金	0	0	0	0	0	
退職給付引当金繰入額	150,000	0	150,000	150,000	0	
事務費	1,771,600	0	1,771,600	1,625,225	146,375	
旅費	15,000	0	15,000	9,470	5,530	
消耗品費	150,000	0	150,000	120,732	29,268	
会議旅費	20,000	0	20,000	10,614	9,386	
印刷製本費	40,000	0	40,000	40,203	-203	
通信運搬費	300,000	0	300,000	332,294	-32,294	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
(横浜市への支払い分)	0	0	0	0	0	
(その他)	0	0	0	0	0	
備品購入費	100,000	0	100,000	0	100,000	
保険料	180,000	0	180,000	176,810	3,190	
振込手数料	70,000	0	70,000	66,317	3,683	
リース料	666,600	0	666,600	641,545	25,055	
手数料	10,000	0	10,000	2,040	7,960	
その他事務費	220,000	0	220,000	225,200	-5,200	
自主事業費	179,000	0	179,000	305,156	-126,156	
管理費	1,895,000	0	1,895,000	1,738,119	156,881	
光熱水費合計	※横浜市負担					
光熱水費 (電気)	※横浜市負担					
光熱水費 (ガス)	※横浜市負担					
光熱水費 (水道)	※横浜市負担					
光熱水費 (下水道)	※横浜市負担					
清掃費	450,000	0	450,000	488,571	-38,571	
修繕費	100,000	0	100,000	101,890	-1,890	
機械警備費	385,000	0	385,000	368,280	16,720	
公園及び公園施設設備保全費	960,000	0	960,000	779,378	180,622	
施設 (建物)・設備保守	180,000	0	180,000	74,746	105,254	
園地管理費	780,000	0	780,000	704,632	75,368	
その他保全費	0	0	0	0	0	
公租公課	720,131	0	720,131	719,500	631	
公租公課 (事業所税)	0	0	0	0	0	
公租公課 (消費税)	719,131	0	719,131	718,900	231	
その他公租公課	1,000	0	1,000	600	400	
事務経費 (本部分)	0	0	0	0	0	
雑費	236,769	0	236,769	222,570	14,199	
支出合計 (b)	16,068,100	0	16,068,100	16,384,540	-316,440	
差引 (a - b)	0	0	0	-364,575	364,575	

(参考) 指定管理事業外の収支

設置管理許可収入合計 (c)	0	0	0	0	0	
設置管理許可支出合計 (d)	0	0	0	0	0	
差引 (c - d)	0	0	0	0	0	

令和6年度の収支について、特記事項は以下の通り。

昨年度に比べ人出が増加してきた。来場記念品の開発、寄付金をいただく努力をし、自主事業については昨年度より開催日数を増やしより多くの参加者を募り実施した。しかし、中止、縮小した事業もあり、予算よりは少ない収入額となった。

余剰苗や来園記念品など寄付金・運営協力金をいただく工夫をした。

購入する物品には優先順位を付け、園地や建物の安全な維持管理に必要な物から購入した。これにより、消耗品費はまとめ買い、詰替え、差替え可能な物を選んで購入することや在庫調整等により予算額より14%削減となった。

また、備品購入費は0円だった。これはPCや大型機材等の更新が行われなかったことによる。公園及び公園施設設備保全費のうち、施設（建物）・設備保守費は施設内で使用する衛生用品の消費減とより安価な製品の調達に切り替えて当初予算額を下回ることが出来た。

通信運搬費は昨年度に比べ大幅な予算超過となった。これは今般のネットワークセキュリティ水準に照らし合わせて強化が必要であると判断しセキュリティ機器及びソフトウェアの導入継続を行った為である。

腐葉土を作る場所のない園地の為、ある程度まで乾燥させて軽くしてから搬出することで処分費を抑える努力をしたが、ルート回収における燃やすごみ及び産業廃棄物の収集運搬費用等処理単価が引き上げられたこともあり当初予算額を大幅に上回った。

(事業報告書様式12)

運営目標・実績報告【自己評価 ◎：特筆すべき取組がある ○：達成している △：改善を要する】

項 目	計画時の取組み内容及び 具体的な数値目標	実績	自己 評価 (◎・ ○・ △)	改善点等 今後の取組
業務運営1 (事業計画書 様式2：達成 目標、運營業 務の実施方 針、個別課 題)	<p>達成目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満足度90パーセント以上を目指します。 <p>実施方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様式2-1、2を遂行するために、様式2-3～様式7に記載した通り実施する。 ・利用者アンケート／60枚以上等 <p>個別課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暑さ対策／来園者への啓発、職員等への配慮、夏季イベント対策等(6～9月) ・人材確保、人材育成等／地域から積極的に登用。職員が少人数の為、全員が全体の業務内容を把握できるようにし、研修や資格取得を通じて業務遂行を行う。(通年) ・他団体との連携等／磯子区内連携企画・いそっぴGW(4～5月)、三溪園等との横浜雛めぐり(2～3月) ・維持管理の取組み／園内斜面地の土砂流出を防ぐため、客土や土留め及び植樹・植栽・補植し育 	<p>達成目標</p> <p>来園者の満足度は94.3%だった。</p> <p>実施方針</p> <p>令和年6度事業計画書の通り維持管理運営を実施した。</p> <p>利用者アンケートは通年で140回答を得た。</p> <p>個別課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暑さ対策／屋外作業時間の短縮や適切な体調管理を徹底した。また、体調不良の来園者がいないか園内の巡回を増やして対応した。 ・人材確保、人材育成等／地域から人材を確保し維持管理運営に必要な知識や技術の教育を実施した。 ・他団体との連携等／計画の通り、いそっぴGW及び横浜ひなめぐりを開催した。 ・維持管理運営の取組み／計画の通り、園内斜面地保護の植栽管理を行った。 	○	<p>各種感染症の流行に注意を払いながら、古民家の建つ文化体験施設としての役割を念頭に置き、維持管理運営に取り組んでいく。</p>

	成する。(通年)			
業務運営2 (事業計画書 様式2:管理 運営体制、人 員の配置と研 修計画)	<p>管理運営体制 様式2-3の通りの体制で行います。</p> <p>人員配置 様式2-3の通り配置します。</p> <p>研修計画 様式2-3の通り及び必要に合わせ随時実施します。</p>	<p>管理運営体制は、計画書の通り実施した。</p> <p>人員配置は、配置計画に対し令和6年度では最大2名の欠員となった。これは体調不良による退職者が突発的に出た為である。後半期では新規採用によって配置計画の通りとなった。</p> <p>研修計画は、計画書の通り実施した。</p>	○	<p>やむを得ない事情による突発的な退職等による欠員に対応できるよう、雇用人数にゆとりを持たせていく。そのような事態が起きた際には余裕を持って引継ぎや新規採用者への教育・研修が行えるよう、職員全体の教育・研修を進めていきたい。</p>
業務運営3 (事業計画書 様式3:利用 者サービスの 向上・利用促 進策)	<p>季節の展示替 4回</p> <p>自主事業等 新型コロナウイルス感染症が落ち着き室内イベントが再開できた場合は、様式5の通り実施 27件</p> <p>丁寧な庭園の手入れの実施 通年</p>	<p>季節の展示替は、計画の通り実施した。</p> <p>自主事業は、新型コロナウイルス感染症対策の緩和により昨年度より3件増え23件を実施した。</p> <p>庭園の管理は、計画の通り実施した。</p> <p>園内の植物の樹名板を更新し掲示した。来園者からは園内の植物の名称を知ることが出来たと好評を頂いた。</p>	○	<p>各種感染症の感染状況を注視しつつ、感染リスクの少ない自主事業は積極的に実施していく。</p> <p>樹名板の更新により、来園者が園内の植物について興味関心を持っていることを再確認できた。職員全員へ植物の名称や特徴、見ごろの季節などについて、来園者へ説明が出来るよう必要な研修を実施していく。</p>
業務運営4 (事業計画書 様式3:広 報・プロモ ーションの取 組)	<p>ホームページの更新 随時</p> <p>自主事業等の発信 随時</p>	<p>ホームページの更新は、必要に応じ随時実施した。</p> <p>自主事業等の発信は、ホームページを通じて随時実施した。</p> <p>11月から12月にかけて、JR 磯子駅・根岸駅開業60周年記念イベント(磯子区役所共催)の「駅からハイキング ウォーキングイベ</p>	○	<p>引き続き、当施設のHPを活用し、自主事業等の発信を続けていく。</p>

		ント」のハイキングマップに掲載され、多くのハイカーに来園していただき好評を得た。		
業務運営5 (事業計画書様式3:市民協働、市民主体の活動の支援、地域人材育成)	<ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとの展示替え及び自主事業等の機会 8件 ・部屋利用等の文化活動 随時受付 ・記念品作成や庭園管理等の協力をいただく 随時受付 ・町内会の祭りに参加 1回/年 	<p>季節ごとの展示替え及び自主事業等は、計画の通り実施した。</p> <p>町内会の祭りは熱中症回避・感染症対策の上令和6年12月に開催となり、当団体も出し物を用意し、公園のPR及び親睦を図った。</p>	○	新型コロナウイルスの感染等の状況を注視しながら、市民の文化活動支援や活動の場を提供できるよう取り組んでいく。
業務運営6 (事業計画書様式3:市の施策への協力)	<p>様式3-7(1)~(6) 通年取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重や障害者差別解消のための研修 2回/年 ・産業廃棄物の排出総量 1%削減 	<p>研修は、計画の通り実施した。</p> <p>産業廃棄物の総排出量のうち、燃やすごみが1686.8kg(令和5年度は1357.5kg)で、前年度比124.2%と20%以上の増加となった。</p> <p>これは特に園内樹木の全体的な剪定を行った際の剪定枝を排出した為である。</p> <p>また、それ以外の産業廃棄物や古紙も微増となった。</p>	○	引き続き、市の重要施策を踏まえた維持管理運営に取り組んでいく。
業務運営7 (事業計画書様式4:文化・自然体験施設の魅力を高める施設・園地管理)	<p>様式4-1、2、3に記載した内容をもとに取り組めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園地内における日本在来植物の育成・管理 通年 ・牡丹 3~12月 ・杉田梅 通年 <ul style="list-style-type: none"> ・和草等 通年 ・建物の歴史と魅力を伝 	<p>計画の通り実施した。</p> <p>特に、磯子区ゆかりの杉田梅を増やす目的で種からの生育を開始した。</p> <p>また、神奈川県内で絶滅危惧IA類(CR)に指定されているコウホネを生育し株分けの準備を進めた。</p>	◎	日本在来の植物を保護し、四季折々に見ごろになった植物を永く来園者に楽しんでもらえるよう、中長期的な視野を持ちながら植生管理を実施していく。

	える展示開催 文化の日			
業務運営8 (事業計画書 様式4:施設 (建物等)、設備の維持管理)	様式4-1、2に記載した内容をもとに取組みます。 ・点検項目表、清掃作業表、戸締りチェック表等を作成しそれをもとに行う 毎日 ・建物の雨樋清掃委託 1回/年(1月) ・雨樋、排水枡等の落葉、泥詰まりの除去 通年	計画の通り実施した。 特に、雨樋清掃では足場を設置して実施した。その折、屋根瓦及び高所外壁等の点検を行い、劣化箇所を早期に発見し報告することが出来た。	◎	引き続き、横浜市指定有形文化財である建物の歴史的価値や在来建築としての特性を念頭に、市民に永く親しんでもらえるよう丁寧に維持管理運営を実施していく。
業務運営9 (事業計画書 様式4:樹木、植栽等の管理)	様式4-1、3に記載した内容をもとに取組みます。 ・樹木剪定、刈込、草払い 9回/年/業務委託 ・刈込、草抜、草本手入れ 通年/職員、協力者	令和6年度中の業務委託による剪定、刈込等の作業は上記修繕期間との調整で7回実施した。 それ以外の植生管理も計画の通り随時実施した。	◎	園内及び園地裏斜面地の樹木が健全な状態であることを日常点検の中で確認し、全職員間で状況を共有していく。 異常が見られた場合には直ちに所管の公園事務所へ連絡すると共に、周囲の安全確保に努めていく。 その他、剪定、刈込や草本管理等の植生管理は適切かつ十分に実施していく。
業務運営10 (事業計画書 様式4:巡視・清掃)	・巡視・点検項目表、清掃作業表等を作成しそれをもとに行います。 ・巡視 3回/日、及び必要の都度 ・清掃 1回/日、及び必要の都度 ※特に長期イベントや冬期休園等の前後には日常以上に丁寧清掃	計画の通り実施した。 また、強風、大雨等の荒天時には巡回回数を増やし、異常があれば来園者に対し周知の案内を行う等安全に配慮した。	○	引き続き、園内及び建物が安心安全な空間である為に、日常業務の巡視や清掃が日々の繰り返しとならないよう全職員が当事者意識を持ち責任感をもって実施していく。

<p>収支 (事業計画書 様式7:収入 確保、経費節 減策)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品等の在庫確認や見直しにより前年度比0.5%削減 ・3R や SDGs に沿った商品購入によって産業廃棄物処理費を前年度比0.5%削減 	<p>収入については、来場記念品の開発、寄付金をいただく努力をした。自主事業は昨年度より開催日を増やし、より多くの参加者を募り実施した。しかし、中止、縮小した事業もあり予算よりは少ない収入額となった。</p> <p>消耗品費は、前年度比86%となった。</p> <p>産業廃棄物処理費は、前年度比114.8%となった。これはルート回収における処理単価や収集運搬費の値上げに加え、燃やすごみの排出量増加によるところが大きい。</p>	<p>○</p>	<p>引き続き、年間を通した資金計画を作成し、適正な会計を実施していく。</p> <p>また、魅力ある来園記念品を用意したり、部屋利用の促進による収入の増加に努めていくと共に、経費削減に取り組み、より一層健全な維持管理運営を目指していく。</p>
--	---	---	----------	---